

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	18HP2005	事業期間	平成30(2018)年度～ 令和4(2022)年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
ビデオ論文のオープンアクセス化支援 を通じた動物行動研究の学術・社会的イ ンパクトの向上		日本動物行動学会	会長・辻 和希
学術刊行物の名称			(略称)
Journal of Ethology			JE

【令和2(2020)年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>当初に掲げた、学術的インパクトと社会的インパクトを同時に高めるという目標に対して、論文紹介動画作成、オープンアクセス(OA)化論文数やインパクトファクター(IF)といった項目において概ね順調な成果が認められる。オルトメトリクス(Altmetrics)の向上に向けた取組についても、目標達成には至っていないものの、進捗があると判断できる。</p> <p>なお、YouTubeによる論文紹介動画については、本計画における新しい取組として高く評価できるが、ナレーションや内容を、より魅力的な発信力の大きな内容へと改善できる余地も感じられる。</p>	